

ワールドカフェ 20 周年記念イベント

ワールドカフェという対話の方法が考えられて 20 年。アメリカのデビッド・アイザックス氏、アニータ・ブラウン氏によって誕生しました。原点に戻って、ワールドカフェの持つ可能性を考えるイベントとなりました。

☆ワールドカフェ？

〇〇カフェという言葉を目に、目にするようになりました。カフェのような気軽な雰囲気の中でお茶を飲みながら語り合ったり、何かを学んだりします。その中でもワールドカフェというのは、語り合うことを目的としたある方法で話し合う「場」のことを言います。

ある方法とは、4~5 人でテーブルを囲み、15~20 分ほど時間が経ったら一人をのこしてメンバーチェンジ、また 15~20 分ほどしたらメンバーチェンジします。最後にハーベストという全体の共有をします。

こんな簡単な事なのですが、これがパワーを発揮するのです。

急遽、ビデオ出演となってしまったアニータ・ブラウン氏によれば、コミュニティ、組織、そして社会を変革するツールとなる、可能性は無限大なのだ、そんなパワーを持っているとのことでした。



(全国で 500 名以上、名古屋会場は 87 名の方が参加してくださいました)

☆日本の 9 会場をつなぐ！

日本では、東京をコアとしてオンラインで 9 会場（札幌、仙台、東京、金沢、名古屋、神戸、広島、福岡、沖縄）を結びつつ、同じ問いで同時にワールドカフェを進めるというチャレンジングな試みでした。ハーベストで 9 会場が繋がったという実感をもった方が多かったようです。このとき、ビジネス、災害復興、まちづくりで活用している事例も報告され、どんな「場」でも対話が必要なのだと再認識できました。

☆6 月から準備を初めていったこの企画ですが、後半の忙しさは半端でなく、みなさん本業は大丈夫？と心配になってしまうほどでした。終了後は達成感がありましたが、バーンアウトしてしまった方も少なくなかったようです。